

平成26年三重県議会定例会

教育警察常任委員会

所管事項調査

- 1 刑法犯の認知状況について
 - ・ **資料1** 刑法犯の認知状況 1頁

- 2 チャイルドガーディアンみえ推進事業について
 - ・ **資料2** チャイルドガーディアンみえ推進事業 2頁

- 3 交通事故情勢について
 - ・ **資料3** 交通事故情勢 3頁

平成26年12月

警察本部

刑法犯の認知状況

三重県内の刑法犯認知状況

刑法犯 認知件数	H26.10末	H25.10末	増減数	増減率
	14,760	16,725	-1,965	-11.7%

全国・管区内の刑法犯認知状況

	認知件数	前年件数	増減数	増減率
全国	1,023,028	1,097,826	-74,798	-6.8%
管区	119,764	134,397	-14,633	-10.9%
富山	5,337	5,413	-76	-1.4%
石川	6,388	6,388	0	0.0%
福井	4,267	4,598	-331	-7.2%
岐阜	17,035	19,051	-2,016	-10.6%
愛知	71,977	82,222	-10,245	-12.5%
三重	14,760	16,725	-1,965	-11.7%

認知件数の増減率

順位	県名	認知件数	増減率
1位	徳島	3,926	-20.5%
2位	滋賀	10,589	-20.1%
3位	長崎	5,138	-16.9%
4位	佐賀	5,412	-16.5%
5位	山口	7,427	-15.4%
18位	三重	14,760	-11.7%

三重県内の重点犯罪認知状況

重点犯罪認知件数	H26.10末	H25.10末	増減数	増減率
	7,804	9,059	-1,255	-13.9%

類型別の状況

類型	自動車関連犯罪			住宅対象犯罪		子供・女性対象犯罪					身近で発生する犯罪			特殊詐欺	
H26.10末	1,970			672		98					4,984			80	
H25.10末	2,706			871		122					5,274			86	
増減数	-736			-199		-24					-290			-6	
増減率	-27.2%			-22.8%		-19.7%					-5.5%			-7.0%	
罪種・手口	自 動 車 盗	車 上 ね ら い	部 品 ね ら い	空 き 巣	忍 込 み	強 姦	わ 強 い せ つ 制	誘 路 拐 取	ひ っ た く り	路 上 強 盗	オ ー ト バ イ 盗	自 転 車 盗	万 引 き	詐 振 り 込 め	以 振 り 込 め 詐 欺
H26.10末	325	1,164	481	481	191	9	49	1	32	7	586	2,895	1,503	54	26
H25.10末	463	1,392	851	709	162	16	58	0	45	3	771	3,207	1,296	52	34
増減数	-138	-228	-370	-228	29	-7	-9	1	-13	4	-185	-312	207	2	-8
増減率	-29.8%	-16.4%	-43.5%	-32.2%	17.9%	-43.8%	-15.5%	-	-28.9%	133.3%	-24.0%	-9.7%	16.0%	3.8%	-23.5%

チャイルドガーディアンみえ推進事業

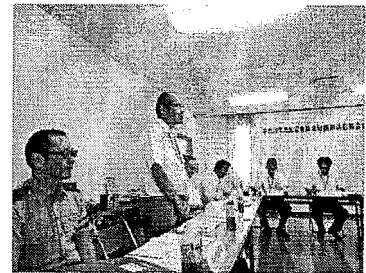
1 事業概要

昨年8月の本県における女子中学生殺害事件のほか、全国で子どもが被害者となる事件が相次いで発生したことを踏まえ、子どもを犯罪被害から守るため、警察と学校、関係機関・団体との連携を強化し、統一的な活動を促進する「チャイルドガーディアン」を警察本部及び8警察署に配置し、不審者情報等の周知、合同パトロール及び見守り活動等の一層の充実を図る。

2 チャイルドガーディアンみえ推進事業の進捗状況（11月末現在）

12警察署管内で連絡会を発足させるなど、子どもを犯罪被害から守る活動を行う関係機関・団体(学校、防犯ボランティア団体等)のネットワーク化を推進し、ネットワーク化に至っていない地域についても、関係機関・団体の多くから事業の趣旨に賛同を得ており、早期のネットワーク化を図ることとしている。

また、平素は、関係機関・団体との合同によるパトロールや見守り活動、地域安全マップの作成等を実施している。



趣旨説明の実施状況

3 効果・反響

(1) 効果

不審者情報発信後、ネットワーク構成団体等によるパトロール活動や見守り活動が迅速に行われている。

(2) 反響

ネットワーク構成団体等からは、連絡会の発足時等において、

- ・ 子どもの安全を確保するため、地区際を超えた見守り活動は必要である。
 - ・ 子どもの安全を地域全体でサポートする組織が発足してありがたい。
 - ・ 連絡会発足を機に、他団体と一緒に子どもの見守り活動を行っていききたい。
- 等の声が寄せられている。



見守り活動の実施状況

4 課題と今後の取組

(1) 課題

未だ一部の地域ではネットワーク化に至っていないほか、

- ・ ネットワーク化が図られた地域の一部地区において、子どもを守る活動を行う団体が存在しない。
- ・ 地区際を超えた見守り活動を行う団体等が一部にとどまっている。

等の課題がある。

(2) 今後の取組

引き続き、本事業に精力的に取り組み、全警察署管内でのネットワーク化とネットワーク構成団体による活動の活性化を図る。

交通事故情勢

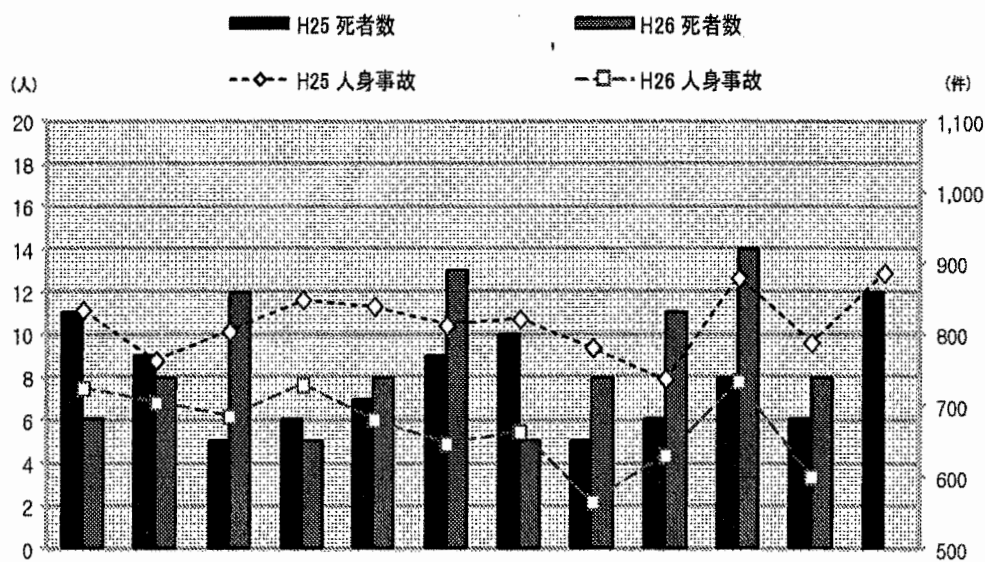
1 交通事故発生状況（平成26年11月末）

区分	総事故	人身事故		死亡事故		物件事故
		負傷者数	死者数	死者数	死者数	
平成26年11月末	56,544	7,371	9,750	96	98	49,173
前年同期比	-1,783	-1,546	-1,974	+18	+16	-237
増減率	-3.1%	-17.3%	-16.8%	+23.1%	+19.5%	-0.5%

2 交通死亡事故の特徴（平成26年11月末）

- (1) 高齢死者が半数以上を占める・・・98人中50人
(前年同期比+9人)
- (2) 四輪乗車中死者の6割以上がシートベルト非着用・・・33人中22人
(前年同期比+10人)
- (3) 飲酒運転の事故が増加・・・82件中8件（第1当事者原付以上）
(前年同期比+5件)
- (4) 出会い頭事故が多い・・・96件中21件
(前年同期比+10件)

3 月別発生件数



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
H25	人身事故	835	764	805	849	840	813	822	782	738	880	789	887	9,804
	死者数	11	9	5	6	7	9	10	5	6	8	6	12	94
H26	人身事故	725	705	686	730	681	647	664	566	631	735	601		7,371
	死者数	6	8	12	5	8	13	5	8	11	14	8		98

三重県 交通死者数100人突破

県内の交通死亡事故は、昨年に比べて大幅に増加しています。

今後、年末にかけ交通死亡事故の多発が予想されます。

外出するときは、交通事故に遭わないよう緊張感を持った行動に心掛けてください。

夜間の事故に注意

● ドライバーの方へ

- ・速度を控え、前方・左右の安全確認を励行
- ・夕暮れ時、早目のライトを点灯
- ・上向きライトの点灯とこまめな切り替え
- ・横断歩行者、自転車の動きに注意

● 歩行者・自転車利用者の方へ

- ・夜間や夕暮れ時は、夜光反射材を着用
- ・道路の横断は、左右の安全確認を励行
- ・自動車接近中は、通り過ぎてから横断開始

ドライバーと歩行者・自転車利用者がお互いに注意し合って、交通事故を防止しましょう。

三重県警察